

ミニ・ディスクロージャー誌  
2024年4月1日から2024年9月30日まで

KIYO

株式会社 紀陽銀行

2024年12月発行

経営企画部 広報・IR室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-7133

<https://www.kiyobank.co.jp/>

# 銀行をこえる銀行へ

いつでもお客さまのそばへ飛んでいこう、と思う。

地元を、盛りあげようとする人がある。

ならば私たちは、

その人の理想をかなえる力になろう。

どんな課題にも、本気で向き合い

そこまでやるかと言ってもらえる銀行に。

わたしたちは、お客さまの期待を、こえてゆきたい。

いつでも境界線を乗り越えたい、と思う。

わたしたちは、地元を知っている。

そこに暮らすお客さま同士を結びつける、

その方法を知っている。

結びつける地域が大きくひろがっても

どこまでも力になれる銀行に。

わたしたちは、地域の壁を、こえてゆきたい。

いつでも新しい世界へ跳躍したい、と思う。

歴史を紡いできた誇りを胸に

けれども、いままで通りの銀行とは違う、

そんな道を選びたい。

たんなる金融機関ではない

人生を丸ごとまかせてもらえるような銀行に。

わたしたちは、銀行という枠を、こえてゆきたい。

写真：橋杭岩

## ごあいさつ



取締役頭取

原口裕之

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、このたび、すべてのステークホルダーの方々へ当行に対するご理解を一層深めていただくため、「2024年9月期ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。当行グループの最近の取り組みや業績などをまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

当行グループを取り巻く環境は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が大きく進展し、明るい兆しが見え始めた一方で、歴史的な円安や資源高、人手不足など、依然先行き不透明な状況が続いています。また、マイナス金利政策が解除され、「金利のある世界」を迎えるなど、金融機関にとっては、大きな変革期を迎えています。

このような中、当行グループは2024年4月より、第7次中期経営計画をスタートいたしました。第7次中期経営計画は、長期ビジョン「お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、人が未来を創造する地域金融グループとなる」に向けたファーストステップと位置づけ、長期ビジョンからバックキャストを意識しながら策定いたしました。基本方針を「地域の金融リーディンググループとしての機能発揮による地元地域との価値共創」と定め、当行グループの強みである中小企業「取引」を起点としたビジネスモデルへの変革をコンセプトとしております。地域社会の課題解決に本気で向き合い、サステナビリティ経営の高度化をはかることで、企業価値の向上につなげてまいります。

「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」という当行グループの経営理念のもと、これまで当行を支えていただいた方々への「感謝」を忘れることなく、全役職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

ミニ・ディスクロージャー誌 2024年9月期 営業の中間ご報告	■ ごあいさつ	2
	■ トピックス	3
	■ 業績ハイライト	5
	■ 財務諸表	9
	■ 株式情報	13

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

## 第7次中期経営計画 **KX** KX ~Kiyō transformation~

2024年4月～2027年3月までを計画期間とする第7次中期経営計画を策定しました。「中小企業分野」における本業支援活動の充実、サステナビリティ経営の高度化等により地元企業の成長に貢献し、当行グループ・地元地域の双方にとって持続可能な発展を目指して事業展開いたします。

### 骨子

#### 〈基本方針〉

地域の金融リーディンググループとしての  
機能発揮による地元地域との価値共創

#### 〈コンセプト〉

中小企業「取引」を起点としたビジネスモデルへの変革

#### 〈メッセージ〉

**KX ~ Kiyō transformation ~**

長期ビジョンの達成・企業価値の向上に向けた企業変革への挑戦

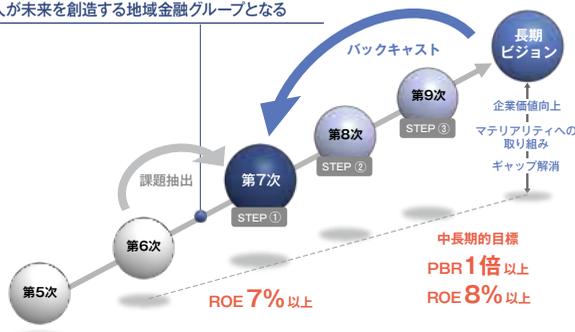
### 主要戦略

- ① 営業戦略\_営業体制の最適化
- ② グループ戦略\_成長分野への戦略的投資
- ③ デジタルバンキング戦略\_地域DXの推進
- ④ サステナビリティ戦略\_地域未来の創造

### 〈第7次中期経営計画の位置づけ〉

#### 長期ビジョン

お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、  
人が未来を創造する地域金融グループとなる



※第7次中期経営計画の詳細は、当行HPをご覧ください。

[https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/merger/management\\_project.html](https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/merger/management_project.html)

## 「デジタルストラテジー2.0」を策定

2021年7月に公表したデジタルストラテジーについて、2024年6月までの取組状況を踏まえ内容を更新し、デジタルストラテジー2.0を策定しました。「DX(デジタルトランスフォーメーション)による価値共創」をビジョンとして掲げ、デジタルの力で地域・地元企業・自治体と共創し、持続的な地域活性化へ貢献するため、「地域のDX推進」・「銀行業の高度化」・「DX人材の育成・確保・展開」を主要戦略としています。



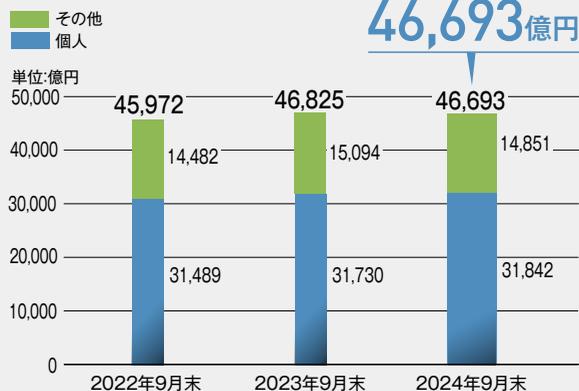
### 第7次中期経営計画「基本方針」



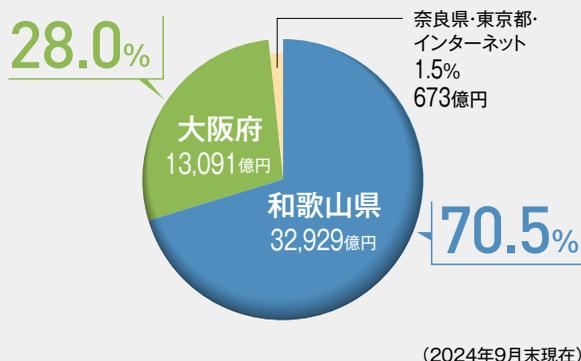
## 「スタートアップ支援室」の新設

スタートアップ企業の成長支援や地元企業の新規事業開発支援、創業企業の資金調達・DX推進支援等をおこなう専門部署として2024年10月1日付で「スタートアップ支援室」を新設しました。機能集約と情報の一元管理によるスタートアップ支援体制の高度化に努めるとともに、和歌山市内において地域に根差したインキュベーション施設の新設について準備を進めています。

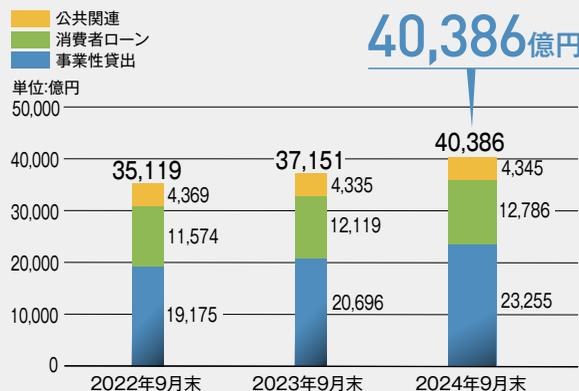
預金等残高(単体)



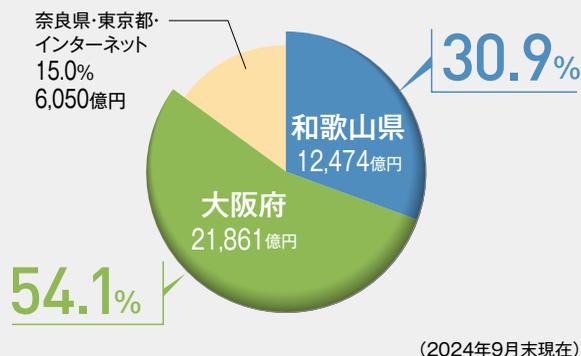
預金等地域別構成



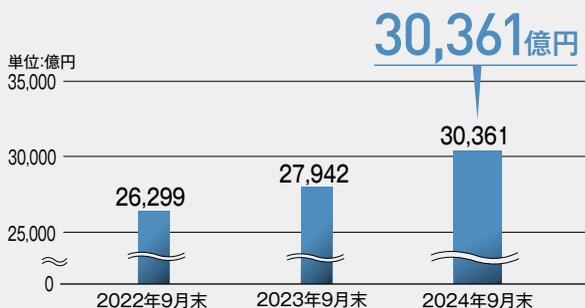
貸出金残高(単体)



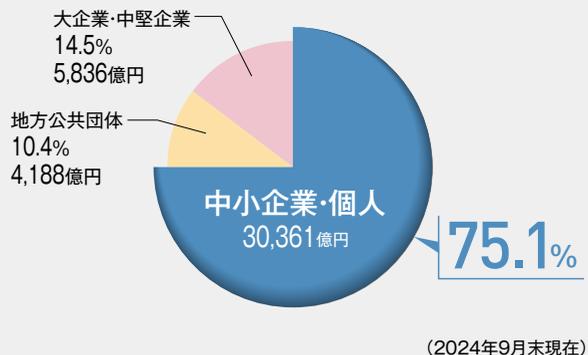
貸出金地域別構成



中小企業等貸出金残高(単体)

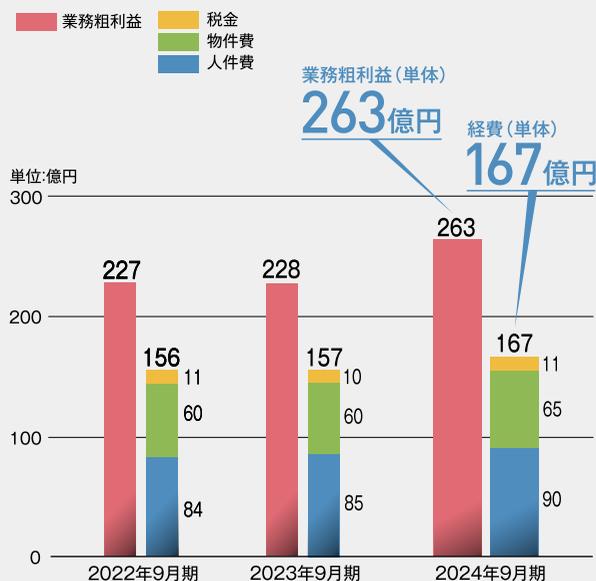


中小企業・個人のお客さまへの融資の状況

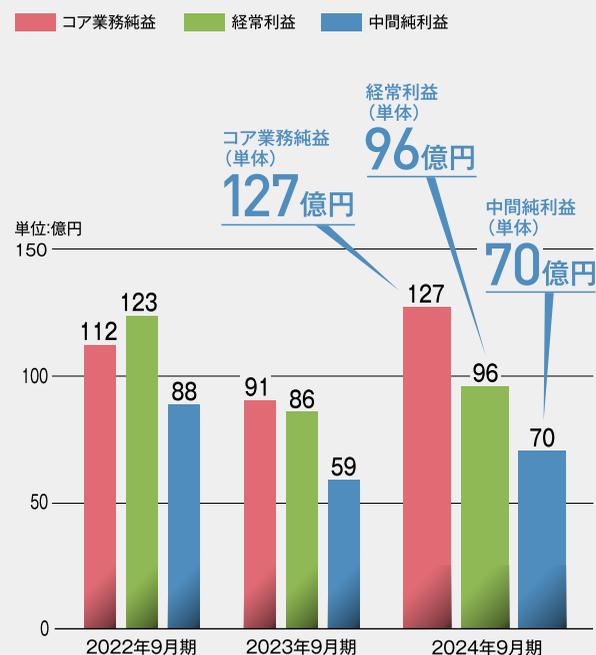


※中小企業等貸出金とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社および個人への貸出金

## 業務粗利益・経費(単体)



## コア業務純益・経常利益・中間純利益(単体)

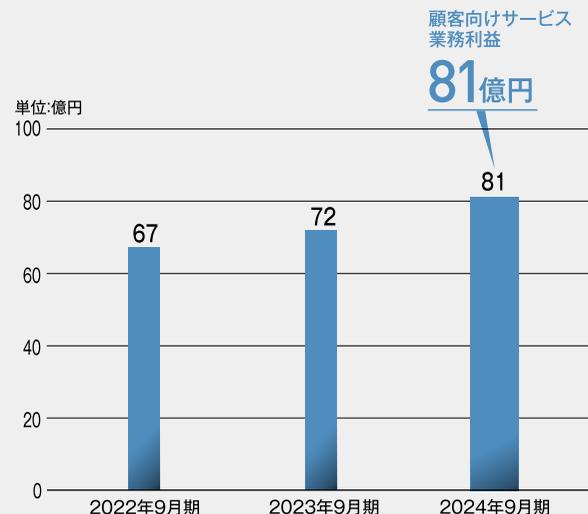


## 顧客向けサービス業務利益

「顧客向けサービス業務利益」については「銀行の本業で稼ぐ力」を示した重要な指標であると認識しており、当行は「顧客向けサービス業務利益」の増強に注力していきます。

※顧客向けサービス業務利益

=貸出金平残×預貸金利回差×期中日数÷365+役員取引等利益－営業経費



## 自己資本比率(連結)



## 紀陽銀行(連結)

## 第215期中 中間連結貸借対照表

(2024年9月30日現在)

単位:百万円

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	817,256	預金	4,614,098
買入金銭債権	0	譲渡性預金	33,523
金銭の信託	8,433	売現先勘定	4,233
有価証券	843,218	債券貸借取引受入担保金	76,906
貸出金	4,017,289	借入金	763,140
外国為替	3,806	外国為替	355
その他資産	57,732	その他負債	63,820
有形固定資産	34,998	退職給付に係る負債	24
無形固定資産	4,376	睡眠預金払戻損失引当金	161
退職給付に係る資産	31,356	偶発損失引当金	388
繰延税金資産	4,811	繰延税金負債	197
支払承諾見返	8,307	支払承諾	8,307
貸倒引当金	△26,096	負債の部合計	5,565,156
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	80,096
		資本剰余金	2,499
		利益剰余金	168,873
		自己株式	△4,770
		株主資本合計	246,699
		その他有価証券評価差額金	△14,395
		繰延ヘッジ損益	117
		退職給付に係る調整累計額	6,888
		その他の包括利益累計額合計	△7,389
		新株予約権	69
		非支配株主持分	955
		純資産の部合計	240,335
資産の部合計	5,805,492	負債及び純資産の部合計	5,805,492

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第215期中 中間連結損益計算書

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	45,804
資金運用収益	27,199
(うち貸出金利息)	( 20,031)
(うち有価証券利息配当金)	( 5,994)
役務取引等収益	9,367
その他業務収益	6,299
その他経常収益	2,937
経常費用	35,375
資金調達費用	3,407
(うち預金利息)	( 655)
役務取引等費用	2,821
その他業務費用	8,194
営業経費	17,475
その他経常費用	3,475
経常利益	10,428
特別利益	—
特別損失	79
税金等調整前中間純利益	10,349
法人税、住民税及び事業税	2,746
法人税等調整額	10
法人税等合計	2,756
中間純利益	7,592
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△5
親会社株主に帰属する中間純利益	7,598

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結子会社

- ・紀陽ビジネスサービス株式会社
- ・紀陽パートナーズ株式会社
- ・阪和信用保証株式会社
- ・紀陽リース株式会社
- ・紀陽キャピタルマネジメント株式会社
- ・株式会社紀陽カード
- ・株式会社紀陽カードディーシー
- ・紀陽情報システム株式会社

## 紀陽銀行(単体)

## 第215期中 中間貸借対照表

(2024年9月30日現在)

単位:百万円

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	816,847	預金	4,625,835
買入金銭債権	0	譲渡性預金	43,523
金銭の信託	8,433	売現先勘定	4,233
有価証券	848,527	債券貸借取引受入担保金	76,906
貸出金	4,038,629	借入金	763,140
外国為替	3,806	外国為替	355
その他資産	26,978	その他負債	54,054
有形固定資産	34,715	睡眠預金払戻損失引当金	161
無形固定資産	4,151	偶発損失引当金	388
前払年金費用	21,459	再評価に係る繰延税金負債	3
繰延税金資産	7,362	支払承諾	8,307
支払承諾見返	8,307	負債の部合計	5,576,908
貸倒引当金	△23,450	<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	80,096
		資本剰余金	264
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	4
		利益剰余金	157,734
		利益準備金	9,225
		その他利益剰余金	148,508
		繰越利益剰余金	148,508
		自己株式	△4,762
		株主資本合計	233,332
		その他有価証券評価差額金	△14,662
		繰延ヘッジ損益	117
		土地再評価差額金	7
		評価・換算差額等合計	△14,537
		新株予約権	69
		純資産の部合計	218,864
<b>資産の部合計</b>	<b>5,795,772</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,795,772</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第215期中 中間損益計算書

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	40,568
資金運用収益	27,194
(うち貸出金利息)	( 20,024)
(うち有価証券利息配当金)	( 5,997)
役員取引等収益	8,242
その他業務収益	2,421
その他経常収益	2,709
経常費用	30,932
資金調達費用	3,407
(うち預金利息)	( 655)
役員取引等費用	3,272
その他業務費用	4,808
営業経費	16,315
その他経常費用	3,129
経常利益	9,635
特別利益	—
特別損失	74
税引前中間純利益	9,560
法人税、住民税及び事業税	2,502
法人税等調整額	△24
法人税等合計	2,477
中間純利益	7,083

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 発行済株式総数 (2024年9月30日現在)

普通株式 **67,300,000株**

### 株主総数 (2024年9月30日現在)

普通株式 **14,521名**

### 株主還元方針

地域金融機関としての公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質強化を目的とする適切な内部留保蓄積と、株主還元強化の両立を目指し、株主還元を行うこととし、株主還元は配当性向40%を目安とし、利益の成長とともに累進的な配当を行い、自己株式取得は機動的に実施する方針としています。

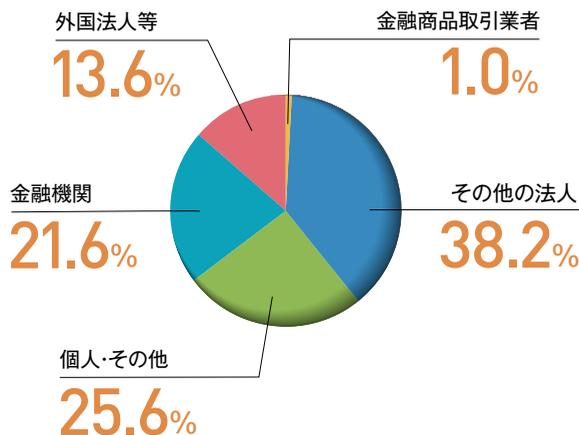
### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

### 株式事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話無料)

### 所有者別株式分布 (2024年9月30日現在)



### 大株主の状況 (2024年9月30日現在)

株主名	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,867	13.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,298	3.56
紀陽フィナンシャルグループ従業員持株会	2,088	3.24
明治安田生命保険相互会社	1,007	1.56
株式会社ヤマヨテクスタイル	999	1.55
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	889	1.38
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	883	1.37
GOVERNMENT OF NORWAY	879	1.36
JP MORGAN CHASE BANK 385781	835	1.29
株式会社島精機製作所	741	1.15

(注) 1. 持株数等は、千株未満を切り捨てて表示しています。  
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(2,865,935株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

### 株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、左記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へ届け出ください。

#### 単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(100株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、左記(株式事務取扱場所(三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部))までお問い合わせください。

(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、下記のホームページにお入りいただき、検索することができます。

三菱UFJ信託銀行HP  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。